

## 創意と工夫の地域づくりの推進「地域づくり委員会の継続発展に向けて」

真田地域では、地域住民との協働による住みやすく潤いのあるふるさとづくりを推進するため「地域づくり委員会」を開催してきました。

地域らしさを活かした分権型の住民自治の実現がより一層求められるなか、新生上田市においても注目されている「地域づくり委員会」を継続し発展させることにより、真田地域まちづくり方針の一つである「創意と工夫の地域づくりの推進」を図るため以下のとおり提言いたします。

### 記

#### (1) 地域づくり委員会の目的・役割を見直す

事業要望等については事前に自治会内での取りまとめを依頼することとし、地域づくり委員会の目的・役割を、行政情報の伝達と地域課題の協議に変える。このため「地域づくり委員会要領」を、行政情報の伝達、地域要望、提案型意見などに区分・整理し、委員会で取り扱う内容を明らかにして、その取り組みを推進する。

#### (2) 委員会の場の設定を検討

自治会単位での委員会開催のみならず、幾つかの地域が共通して抱える問題等に対しては、必要に応じて自治会連合会単位などの広い範囲で地域課題を議論する場を設けることを検討し、また、各種団体との連携を図る上から、各種団体との意見交換の場も設ける。

#### (3) 地域で自由裁量が可能な予算の確保

現在、市では魅力アップ事業で地域の自主性が発揮できるよう取り組まれているが、地域づくりをさらに議論し実行に移すために、地域自治センターが自由裁量できる予算枠の確保が望まれる。このことを仕組みづくりとともに検討する。

#### (4) 継続性の担保

議論や取り組みを継続させるため、自治会委員の複数年化の検討や、必要に応じて実行組織を設ける、又は、既存の団体を活用するなど、地域おこしに果敢に挑戦することが重要である。